

増田俊男の『愉快な暴言』2025年10月8日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] info@chokugen.com

[X(旧 twitter)] t_masuda2019/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] t_masuda2019/



時事評論家 増田俊男

7日に続く第三弾

東京市場のもう一つの誤想定

高市は積極財政を口にしてきたが、財源について聞かれた際、赤字国債を否定しなかった。自民総裁選では高市を除く全候補者は赤字国債頼りの財政政策には反対、ただ一人高市だけが肯定的であった。

高市は新総裁になってからの財政に関する質問にも同じく赤字国債（借金を返す為の借金）の発行を肯定している。

高市の財源無き積極財政を想定して10年物の国債利回りは17年ぶりの高水準1.68%まで上がった。

財源なしで大規模な減税や財政出動をすると金利上昇、通貨安、株安のトリプル安になるのが常道である。

今回の高市旋風で金利上昇、3円を超す円安になったが、何故か株価だけ日本の株式史上例を見ない超大幅高が2日も続いた。

「物価を下げるのが私の使命です」とまで言っている高市は「（アメリカと違って）日本の物価高の原因はコストです」と正論を述べている。

何で市場は「高市で日銀の利上げが遠のいた」と想定するのか。

高市は、利上げをすれば円高になり輸入コストが下がり物価高鈍化貢献に繋がることを百も承知している。

高市は、物価高が止まらない時、積極財政を出動したら物価高がスパイラル化して止まらなくなることを百も承知している。

日米合意でアメリカから買うトマホークは200発に決まっていて1発も増えないことは決まっている。

何で三菱重工の株価が2桁も上がるのか。

訳もないことを訳ありにして大騒ぎをしている東京市場。

儲かった、儲かったと言って飲み歩いている兜町のお偉方。

トランプに言わせれば、「日本の兜町は美しい」だろう。

日本の政治年齢は終戦直後マッカーサーが言った通り14歳だったが、トランプに言わせれば7歳以下だろう。

では兜町は何歳になったのだろうか。

ニッケイが何時44,800円に戻るかで兜町の年齢が決まる。

※増田俊男の小冊子 Vol.152 大好評発売中！お申込みは、<https://www.musrjec.com/>

大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」 いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏（真実）
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスダ U. S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、
事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（FAX：03-3956-1313）までお知らせ下さい。